



# ヨーダ通信

2010年12月号  
【No.24】

安井信一税理士事務所 TEL: 03-3374-5666 FAX: 03-3377-8665

■■■■ どうぞみなさまで、お読みください！！ ■■■■

## ◆天の声に導かれて…◆

こんにちは！ 税理士の安井です。ヨーダ通信も、今月で丸2年が経過しました。今回は、みなさまがご存知ない、起業したての頃のお話をさせていただきます。昭和40年代後半に遡ります。

税理士の資格を取ったので、そろそろ税務署を辞めて開業しようかと思っていました。そんなある日、渋谷の街を歩いていたら、若槻のおばさんとバッタリ出会いました。この方は、私が若い頃から色々アドバイスしてくださった気学に詳しい人で、お住まいが渋谷でした。

「あら、安井さんじゃないの！ あなた、仕事、辞めようと思ってるんじゃない？」 出会い頭にいきなり指摘されたのですが、凶星だったのです。「安井さん、今辞めちゃだめよ。今年は何やってもうまくいかないから。」 税務署を辞めるとか開業するとか、そういう話は一切していなかったの、驚きました。しかし、何かある毎に、若槻のおばさんには気学を見てもらい、アドバイスに従ってききましたので、今回も、あっさりと「辞めない」ことを選択しました。

それから一年ほど経ったある日、また、若槻のおばさんに街で声をかけられました。「安井さん、辞めようと思ってるでしょ。」「はい、開業しようかと思ってます。」「今年なら、大丈夫でしょう。何とか行けるわよ。」 それで私は、税務署を辞めて開業することにしました。

開業をするためには、まず退職して、税理士登録の申請をしなくてはなりません。許可が出るまで2ヶ月ほどかかります。税務署も辞めていたので、何もやることがなく、ぶらぶらしていました。そしたらです。若槻のおばさんのアドバイスが実ったのか、タイミング良く？近所で商売をしている人から声をかけられました。「安井さん、どうしたの？」「まあ、休み中なんだよ。」「商売でも始めるの？」「いま申請してるんだよ。許可が下りれば始める予定ですよ。」「じゃあ、うちを診てくれよ。」 こういったことがその人だけでなく、立て続けに起こり、何件かの顧問をすることになりました。全然お客様を持っていない状態でしたから、とても嬉しかったですね。



その後も、営業らしいことはほとんどせず、ご紹介ご紹介でここまで来ました。若槻のおばさんの、出し抜きのアドバイスには、今も感謝しています。理屈を超えた直感というか、魂の声に従う、そんな心づもりが、仕事にも人生にも必要ではないかと、感じております。みなさまのお仕事と人生に、幸せと発展がともにありますよう、祈念いたします。よいお年をお迎えください！

## ◆ピエール佐藤のおもしろフランス生活記◆

### 『フランからユーロへ…』

EU統合して久しく、『ユーロ』の相場なども最近では注目されています。ユーロというのは、EU圏内で使われているお金の単位です。

フランス・フランからユーロへの通貨切替は、確か2000年1月1日だったと記憶します。フランスのATMは24時間制なので、ユーロ紙幣がどんなものかを



(続き→) 見たくて、年末の真夜中にユーロを引き出しに行きました。預金通帳などは、1998年頃からフラン、ユーロ併記になりました。為替レートは1ユーロ=6.55957フランで固定されていたから、併記の意味もあまりないのですが、要するに、ユーロに早く慣れてね、という意味だったのでしょう。

さて、ユーロ紙幣を使ってみたくてたまらない私は、カフェで新紙幣を出しました。すると、「こんなモノは受け取れない」というカフェの反応。フランを持っていないとカフェにも入れない状態が、3ヶ月ほど続きました。春ごろからは、ユーロも地に足がついてきた印象がありました。……が、ユーロに完全に切り替わってからも、つまりフランが使えなくなってからも、買い物のたびに、「えーと、32ユーロって何フランだっけ？」という思考と会話が延々と続いたのです。

## ◆魅せられて◆

こんにちは！ 渡部です。雲ひとつない晴天にそびえる白壁の城は、見る者を魅了する不思議な迫力があります。

全国の城を巡りながら、どれほど写真を撮ったか数えきれません。お城なんて、みんな同じ、と思われるかもしれませんが、人の顔が違うように、城の表情もまた、城ごとに時ごとに異なります。スカイブルーのキャンバスに描かれた数百年前の勇姿に魅せられて、遠い距離を苦しめず訪ねては、カメラマンになりきりました。



写真に雲や人が写るのは嫌いなので、シャッターチャンスを待つのが普通です。何時間か待って、ああ、やっと雲が行ってくれた……と思ってカメラを向けたら、逆光になっていたこともあります。また、わー、こんなにきれいな青空だったら、さぞよい写真が……と期待して現地に着いたら、観光客のグループがぞろぞろ。興奮めです。

岩国城というとても小さなお城があります。有名な錦帯橋をわたり、ロープウェイで山頂まで登って、やっと見ることができます。快晴の予報に誘われて行ってみたら、じゃまな雲がどいてくれません。ずいぶん待って、あきらめて下界に戻りました。……と、みるみる晴れ渡ってきたではありませんか!! このチャンスを逃す手はありません。再びロープウェイで山頂へ。思った以上の素晴らしい写真が撮れました！ 我ながら、快挙!!

さて、人や雲がじゃま……といっても、例外があります。大坂城の大手門を入ると、タコ石という巨大な石が見えます。石垣として置いているので、見える部分は石の厚み、ということになるのでしょうか。厚み部分が29畳(48㎡)、重さが108トンの超巨大な石です。こればかりは、立っている人間がいて初めて、その巨大さが分かるというもの。



面倒くさがり屋の私が、大嫌いなヘビがいてもモノともせず、何時間もシャッターチャンスを待っても愚痴一つこぼさずに、20年以上も続けてきた城巡りの旅。魅せられる、というのは、人を変える力を持つのですね。

## ◆発行元◆

安井信一税理士事務所 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 2-4-1 パールハイツ笹塚 501  
TEL:03-3374-5666 FAX:03-3377-8665 HP:<http://www.zeirishi-expert.jp/>